

1. 製品情報

製品 : 54001 **ネオシルク[®]-ヒト型コラーゲン I**
製品詳細 : 凍結乾燥品 ヒト型コラーゲン

製造者

株式会社 免疫生物研究所
〒375-0005 群馬県藤岡市中字東田 1091 番地 1
TEL: 0274-22-2889 FAX: 0274-23-6055
URL: <http://www.ibl-japan.co.jp> E-Mail: do-ibl@ibl-japan.co.jp

2. 成分情報

物質名: ヒト型コラーゲン
別名: 非プロリン水酸化ヒト I 型コラーゲン α1 鎖

3. 危険有害性の要約

・GHS 分類: 未分類(データがなく分類できない)

4. 応急処置

眼に入った場合: 少量でも目に入った場合は、直ちに多量の流水で 15 分間以上洗眼し、速やかに眼科医の治療を受ける。

皮膚に付着した場合: せっけん水または多量の水で十分に洗い流す。

飲み込んだ場合: 直ちに口をすすぎ、医師の診断を受ける。

吸入した場合: 新鮮な空気のある場所に移し、必要な場合には人工呼吸。医師の手当を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤: 水スプレー、粉末消火剤、二酸化炭素

火災時の特定危険有害性: データなし

特定の消火方法: データなし

消火を行う者の保護: 消火作業は風上から行い、場合によっては呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

・飛散したものは乾燥した容器にできるだけ回収し、その後多量の水で洗い流す。

・流出したものは河川などに流れ込まないように注意し、砂または他の不燃性吸収剤で回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い:**

- ・作業の際は、目および皮膚への接触を避け適切な保護具を着用する。
- ・作業場を換気する。
- ・強酸化剤との接触に注意する。
- ・取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
- ・使用後は容器を密封する。

保管:

- ・容器は直射日光を避け、なるべく涼しい場所に貯蔵し、密閉して、空気との接触を避ける。
- ・ガラス、プラスチック製蓋付容器に貯蔵。

8. 暴露防止及び保護措置**設備対策:**

- ・屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。

・取扱い場所の近くに手洗い・洗眼設備を設ける。

管理濃度・作業環境評価基準： 設定されていない

保護具：

- ・呼吸の保護具；防塵マスク
- ・手の保護具；保護手袋
- ・目の保護具；保護眼鏡（ゴーグル型）
- ・皮膚及び身体の保護具；長袖作業衣

適切な衛生対策： マスク等の吸着剤の交換は定期または使用の都度行う。

9. 物理的及び化学的性質

外観： 白色の粉末

臭い： 無臭

分子量： 約 100kDa

pH、沸点、融点、引火点、発火点、爆発限界、蒸気圧、密度： いずれもデータなし

溶解性： 水に易溶。

10. 安定性及び反応性

安定性： 常温常圧では安定。

反応性： 安定

避けるべき条件： データなし

避けるべき材料： 強い酸化剤

危険有害な分解性生物： 窒素酸化物

11. 有毒性情報

急性毒性： 毒性無し（単回経口投与毒性試験）

局所効果： 皮膚刺激： 刺激性無し（皮膚一次刺激代替法、ヒトパッチテスト）

眼刺激： 刺激性無し（眼刺激性試験代替法）

変異原性、発がん性： 変異原性陰性（細菌を用いた復帰突然変異試験）

皮膚感作性： データなし

12. 環境影響情報

移動性、残留性/分解性、生体蓄積性、生態毒性： いずれもデータなし

13. 廃棄上の注意

中身及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。

14. 輸送上の注意

- ・国連分類： 非該当
- ・容器の転倒、破損が起きないように注意する。
- ・直射日光、水漏れを防止する。

15. 適用法令

- ・消防法： 非該当
- ・毒物及び劇物取締法： 非該当
- ・労働安全衛生法： 非該当
- ・化学物質管理促進法(PRTR 法)： 非該当

16. その他の情報

引用文献：

1. メルクインデックス13版 4393
2. STN インターナショナル RTECS ファイル
3. NITE GHS 分類マニュアル(H18.2.10 版)
4. 製品安全データシートの作成指針(改訂第2版)((社)日本化学工業協会)

ここに記載された情報は作成時の知見によるものですが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。

新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。

本物質は、ヒト由来成分ですので人体への安全性は既知ですが、医薬用途、化粧品用途およびそれらの目的のために動物試験等を行う場合、その他試薬として使用する場合、ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。

特殊条件下で使用するときは、その場の使用環境に応じて安全対策を実施してください。

2017年12月20日作成